

事務局便り

この1年の主な活動記録

高知県技術士会事務局

四県技術士会事務局長会議,第1回建設フェア出展準備検討WG会議(10/24)

平成19年10月24日(水)13時30分～

アライ建設コンサルタント(松山市),明坂参加

四県技術士会事務局長会議

会員拡大状況,四国支部新設に向けての今後の方針について協議

第1回建設フェア出展準備検討WG会議

経緯と今後のスケジュール,出展内容,出展企画,当日設営,会場担当,出展料の分担等について協議



会議の様相

出前授業(高知工業高校土木科), (10/24)

5月に引き続き,第2回目を行う。

平成19年10月24日(水), 場所 高知市筆山,愛宕山, 参加者(6名) 高知工業高校 小栗太一,河野祐輝,清岡純(教諭),高知県技術士会 右城代表,関山会員,大西会員, 内容 擁壁に変状が見られる2カ所の現場を小栗君と河野君が探してきたので,その現場に行き,変状の状態,変状の原因等について説明し,今後の研究課題を指導した。



現地調査の様子

くらしと技術の建設フェア(in 松山)への出展(11/16,17)

四国四県の技術士会が合同で行う事業として出展した。防災をテーマに,各県の防災活動をまとめたパネル展示や防災相談コーナーなどで,「四国の災害に取り組む技術士!」。

ブースには,予想以上の方が立ち寄ってくれまして,地震防災や技術士制度について,多くの質問があり,結構忙しい二日間でした。

平成19年11月16,17日

アイテム愛媛(松山市)

主催 四国建設広報協議会



建設フェアの玄関



ブースの様子



ブースに立ち寄ってくれた皆さん

平成19年度秋の定例総会の開催(12/5)

平成19年12月5日(水)16時00分～

高知会館

講演会31名,交流会28名の参加を得て,定例総会を開催した。講演会は,「技術士の今後

のあり方について」と題して、(社)日本技術士会の組織・活動内容、科学技術創造立国の実現を目指した「技術士ビジョン 21」、CPDの取り組みのほか、技術士会の課題など、(社)日本技術士会中・四国支部 支部長 牧山昭彦様にご講演いただいた(使用スライド別添)。



代表幹事の挨拶

牧山支部長の講演



会議の様様 交流会、村山保顧問の乾杯

四国技術士会(第12回)香川への参加(12/17)

(社)日本技術士会四国支部設立に関して協議した。

平成19年12月17日(月)15時00分～
 ホテルニューグランド(高松市)、明坂参加
 支部設立に関して、今後も会員拡大を図る。250名を超えた段階で支部設立申請を行うものとし、20年度予算要求、21年度設立を目指す。建設フェアについては、平成20年度も参加すること、各県の参加費分担金など協議。



四国技術士会の様子

(社)日本技術士会中・四国支部幹事会への参加(2/16)

10月開催の技術士全国大会を中・四国支部が担当、協力するため幹事会へ参加した。

平成20年2月16日(土)11時00分～
 広島グランドインテリジェントホテル、明坂参加
 支部長挨拶、理事会報告の後、第35回技術士全国大会「島根大会」について、実行委員会の組織が承認された。実行委員長渡辺氏(島根県技術士会会長)から概要説明。

その他、環境部会の設立が承認された。現在の会員は17名で、今後、各県にも会員を募る予定。四国支部の設立に向けては、会員数300名を目標に増強中。四国で現在230名、高知が29名との報告があった。



幹事会の様子

技術士受験セミナーの開催(2/20)

48名もの参加者を得て、今回で2回目となる受験セミナーを開催した。

平成20年2月20日(水)16時00分～
 国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所会議室

土佐国道事務所所長開会挨拶 松井保幸様
 高知県技術士会代表幹事挨拶 右城猛
 技術士制度・試験の概要 幹事 小川修
 受験体験 横山成郎会員、
 質疑応答

勉強時間を確保するために、どのような工夫をしたか？、受験に向けて、まずはじめに何かから手を付けたらよいか？、日頃の仕事は、規模も小さく技術レベルも低いが大丈夫か？など、熱心な質問があった。



松井所長の挨拶



質疑応答の様様



会場の様子



試験の概要説明する小川幹事



受験体験を紹介する横山氏



河野副所長の司会

技術士第二次試験合格者祝賀会並びに記念講演会・祝賀会の開催(4/19)

四国四県の技術士会の共同事業として、約50名の参加を得て開催。新合格者の入会を期待している。

平成20年4月19日(土)

四国電力(株)総合研修所(高松市屋島西町)

祝辞(社)日本技術士会中・四国支部長牧山昭彦

記念講演 『私の問題解決法-99.9%は仮説思い込みで判断しない-』高知県技術士会代表幹事(工学博士) 右城猛氏

37年間に及ぶ豊富な建設コンサルタント業務の経験を基に、失敗事例からの教訓、落石対策、擁壁の設計手法などを紹介し、講師の問題解決方法が披露された。



記念講演の様子

合格者祝賀会

16名の新合格者を囲んで開催。新合格者から自己紹介、抱負が述べられ、先輩技術士との懇親を図った。今後も香川県で継続して開催予定。



懇親会の様子

事務局長会議

この祝賀会の前段(午前中),事務局長会議を開催,明坂が参加した。

内容は,会員拡大について,四国支部の運営について,各県技術士会との関係,会費のあり方について,その他であった。

国道 194 号斜面崩壊に伴う現地調査(4/19)

平成 20 年 4 月 19 日,高知県吾川郡いの町上八川下分で,国道 194 号の山側斜面が崩壊し通行止めとなった。高知県中央西土木事務所の要請を受け,現地を踏査した。

現場斜面の約 100 メートル下には,3 世帯 6 人が住んでいる。崩壊地点の奥には本川地区(旧本川村)があり,国道 194 号は高知市と結ぶ極めて重要な生活道となっている。民家に対する安全性の確保と,一刻も早い復旧が望まれていた。

現地調査終了後,高知県中央西土木事務所を訪問し,地形・地質状況,崩壊状況,崩壊原因,今後の波及範囲,今後の課題について説明し,報告書を提出した。

調査を担当したのは,右城代表幹事,中村幹事,森幹事,上野会員,宮地会員でした。



現地に集合した高知県技術士会の会員
(今回,赤い腕章を作成)



断続的な落石や小崩落が発生する斜面の状況



調査結果を記録



地層の傾斜を調査

いの町の 国道194号 断続的に崩落続く



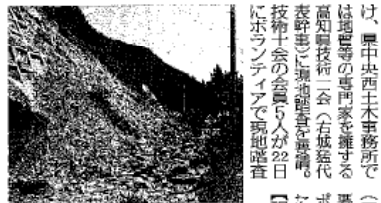
復旧見通し立たず 生活に影の響

【志】十有月の大雨なを崩れて、全道停止された川町の国道194号の復旧は、一時断続的に、土砂崩落の連続に陥り、二次災害の発生は、地元住民に大きな被害をもたらしている。復旧の見通しは、現時点では、断続的に崩落が続いている。住民の生活に影の響を及ぼしている。復旧の見通しは、現時点では、断続的に崩落が続いている。住民の生活に影の響を及ぼしている。

194号崩壊はなぜ起きたのか!!

4月19日、高知県の町上八川下分の国道194号で道路北側の山崩れが起り、道路が全面通行止めとなった。現地では、崩壊の原因が、土砂崩壊によるものであるが、高知県では、四国地方整備局の支援を受けて、早期の通行再開に向けた対応を進めている。一面では、崩壊の原因が、土砂崩壊によるものであるが、高知県では、四国地方整備局の支援を受けて、早期の通行再開に向けた対応を進めている。

高知県技術士会がボランティアで現地踏査



高知県技術士会は、崩壊現場の調査と復旧の支援を行うため、ボランティアで現地踏査を行った。調査の結果、崩壊の原因は、土砂崩壊によるものであることがわかった。復旧の見通しは、現時点では、断続的に崩落が続いている。

平成20年4月21日
高知新聞朝刊

大川村で発生した国道194号の崩壊は、地元住民に大きな被害をもたらしている。復旧の見通しは、現時点では、断続的に崩落が続いている。住民の生活に影の響を及ぼしている。

風化に弱い泥質片岩／誘引は地山のせん断力低下

東側側面などへの拡大を懸念

崩壊現場の調査と復旧の支援を行うため、ボランティアで現地踏査を行った。調査の結果、崩壊の原因は、土砂崩壊によるものであることがわかった。復旧の見通しは、現時点では、断続的に崩落が続いている。

平成20年5月2日
建通新聞



滑落崖の上の亀裂を調査



崩壊地頭部の滑落崖の調査



法面の吹付コンクリート，法枠の変状調査



崩壊の幅をテープで測定



踏査結果を高知県中央西土木事務所に報告

(社)日本技術士会中・四国支部幹事会・総会
(5/17)

日時 5月17日 11時から

場所 広島グランドインテリジェントホテル，右城参加

内容 幹事会，通常総会，講演会，懇親会
幹事会

10月17日(金)～20日(月)に開催される第35回技術士会全国大会への協力に関する，分科会，記念式典，記念講演，交流パーティ，テクニカルツアー等について，参加者目標人数，各県の資金協力，運営動員等について，日韓技術

士会議の開催(9月28日～30日に新潟市)，来年は韓国で開催，政策委員会活動報告では，公益法人制度改革・定款変更に関わる諸問題について，

通常総会

四国からは，武山，作道，栗本，篠原，丸城，右城が出席

講演会 題目；持続可能な都市づくりのための交通政策 - フランスの事例から - 講師 広島工業大学教授，京都大学名誉教授 青山吉隆氏

懇親会

衆議院議員で公明党政務調査会長の斉藤鉄夫氏(工学博士，技術士)が来賓の挨拶



斉藤鉄夫氏(左；現環境大臣)

平成20年度春の定例総会(5/28)

平成20年5月28日，春の総会を開催。参加者数は，総会45名，講演会52名，交流会45名。開会に先立ち右城代表幹事から，4月19日いの町での国道194号土砂崩れに関する災害時支援活動に関する報告と，四国支部設立に伴う日本技術士会への入会，並びに10月に松江市で開催される全国大会への参加の願いがあった。



代表幹事の挨拶

事務局から7名の新入会員が紹介。入会順に，



春の総会参加者

濱田拓也氏[建設,(株)第一コンサルタンツ],野並清人氏[建設,構管技術コンサルタント(株)],橋詰淳[建設,高知県土木部],曾賀英介氏[上下水道,日本水工設計(株)](以上,技術士),楠裕規氏[建設,高知県土地改良事業団体連合会],小笠原基文氏[上下水道,富士設計(株)],谷脇弘規氏[建設,(株)第一コンサルタンツ](以上,技術士補)である。これで会員数は,技術士101名,技術士補9名,合計110名となる。

平成19年度事業・収支決算報告

例年通り春と秋に総会・講演会・交流会を開催したほか,6月には「子供に残そう,元気な高知を」と題して社会資本を考えるシポジウム開催などが報告された。会報Vol.19を編集,750部印刷,会員・他県技術士会や関係官公庁に配布。

翌年2月,「技術士試験受験に関するセミナー」の開催について報告。また,四国四県の技術士会での初めての合同事業として,2007年建設フェアin松山に出展。内容は防災をテーマに各県の

防災活動をまとめたパネル展示や防災相談コーナーなどであった。

収支決算報告については,総会時交流会への参加者数と,会報発行に伴う協賛広告数の減少により収入,支出ともに激減し,事務局の運営は大変厳しい状況にあることが報告された。

役員改選

10名の幹事は全員留任したが,当会創立時からずっと監事を担当してこられた川村喜一郎氏[農業部門]が,岡田知己氏[建設・総監,都市開発コンサルタンツ(株)]に交代することとなった。

平成20年度事業計画・収支予算

本年度は,鳥根県松江市で開催される技術士全国大会開催に関する参加・運営協力のほか,高知市で開催される建設フェア,継続して開催される「技術士試験受験に関するセミナー」などで承認された。

収支予算計画については,四県技術士会の活動の増加,技術士会全国大会開催への協力など,支出面の増加が予想されることが報告された。

講演会・交流会

講演会は、(株)垣内 代表取締役社長 垣内敬陽様から、「中国あれこれ」と題して、中国における国民生活の様子、インフラの整備状況、環境や治安など多岐に及び、これまで延べ 1 年近くの滞在経験から、詳細で具体的な中国の様子が紹介された。

引き続き、垣内様を交えて交流会を開催、懇親を深めた。中国の実状に関する裏話や、道路特定財源を取り巻く話題で大変盛り上がった。



垣内様の講演

中・四国支部幹事会(9/13)

技術士全国大会を目前に控え、最終打合せに参加した。

日時 9月13日(土)12時より16時

場所 中・四国支部会議室、明坂参加

牧山支部長挨拶では、本部の動きについて、法人改革に伴う定款、試験の受験者数に関する事、全国大会予算に関する事が報告された。

全国大会については、各県参加者数の確認、前日、当日の運営担当の役割などが調整された。

その他、東京で行われる講習会を支部などで見られるようにテレビ会議システムの導入について、現在検討中である旨報告された。

四県技術士会事務局長会議、建設フェア出展準備検討WG会議 合同会議(10/9)

四国支部新設に向けた取り組みや、建設フェア出展に伴う準備を調整・検討するため、建設フェア開催地である高知県が担当することで、(株)第一コンサルタンツ会議室で平成 20 年 10

月 9 日(木)開催、各県の事務局長や防災担当が集まった。

四国支部設立に関しては、会員数 300 の達成が困難なことから、平成 21 年度の新設は断念せざるを得ないこと、引き続き 22 年度の新設を目指すことが確認され、各県の会員拡大目標値を再設定した。この結果、協会としてはあと 7 名の増員が必要となった。

建設フェア出展に関しては、高知県がリーダー役を担当することとなり、昨年松山での例を参考に、会場の設営方法、当日の人員の配置、出展費用の負担割合、などを協議した。

第 35 回技術士全国大会 [島根大会] の開催(10/17)

昨年の福井大会を上回る約 600 名の会員が全国から参加し、平成 20 年 10 月 17 日(金)～20 日(月)、島根県松江市で開催された。松江市は、現在 NHK の連続テレビ小説「だんだん」(「だんだん」は、出雲言葉で「ありがとう」)の舞台として、また水の都として有名で、宍道湖やその夕日が美しいことや、シジミ汁がうまいことでも有名である。

四国からの参加者は 27 名で、高知県からは、山本副代表幹事と明坂幹事が参加した。



大会会場の玄関

大会前日は、第 5 回技術者倫理研究事例発表大会、第 4 回全国防災連絡会議、ウェルカムパーティー、二日目となる大会当日は、4 つの分科会、記念式典、記念講演、交流パーティーが開催された。分科会は、第 1 分科会は環太平洋を取り巻く環境技術、第 2 分科会は汽水域・水辺の環境、第 3 分科会は地域に根ざした技術と

地域振興 ,第 4 分科会は青年技術士が考える地域社会 ,であった。第 2 分科会では ,当会の秋元会員が ,「 四万十川における流域管理のあり方 」と題して発表された。(発表論文別添)

記念式典は ,牧山昭彦大会委員長(中・四国支部長)の歓迎の挨拶の後 ,高橋日本技術士会会長の式辞 ,塩谷文部科学大臣 ,斉藤環境大臣 ,溝口島根県知事 ,松浦松江市長のほか関岡中国四国農政局長 ,長尾中国経済産業局長 ,藤田中国地方整備局長からの祝辞があった。

式典の中で行われた大会宣言は ,次のとおり。

第 35 回技術士全国大会(島根)大会宣言

私たち技術士は ,古代文化発祥の地(島根)で ,先人の知恵と技術を学び ,その恩恵に浴しつつ新しい時代の風を吹き込み ,さらに次世代に伝承していくことを決意し ,

- 1 . 豊かな自然と歴史・文化を活かし ,持続可能な環境調和型の社会をつくるため ,環境技術の向上と災害抑制・安全確保に取り組みます。
- 2 . 地方の再生・活性化のため ,地域固有の資源を発掘し ,活用する技術の確立を進めます。
- 3 . 次世代を担う子供や若者達に科学の面白さと自然の大切さを伝え ,魅力ある科学技術立国の創造に貢献します。

以上 ,宣言します。

平成 20 年 10 月 18 日

第 35 回技術士全国大会参加者一同

引き続き ,国選定保存技術保持者の木原明氏による記念講演「たたら製鉄の技と精神」が行われた。第 3・4 日目は ,パートナーツアーやテクニカルツアーが行われた。

大会は ,メインイベントを土曜日に開催したことや ,中・四国支部の会員はもとより ,地元島根県の技術士の皆さんの絶大なる協力により大変な盛り上がりの中に閉会した。

次回第 36 回全国大会は ,東北支部により仙台市で平成 21 年 10 月 15 日(木)~16 日(金)に開催される。



式典の様子



受付ホールとポスターセッションの様子



記念講演と分科会での発表の様子



交流パーティーとその余興



ウェルカムパーティー(前夜祭)

[全国大会の写真は ,本條氏(香川県技術士会)撮影]



当会の協賛広告

高知地区河川・道路関係技術講習会(国土交通省四国整備局)の開催(10/23)

高知河川国道事務所, 土佐国道事務所, 大渡ダム管理事務所の合同の技術講習会が平成 20 年 10 月 23 日(木), 13 時 30 分から高知河川国道事務所 4 階の会議室で開催された。

高知河川国道事務所からの要請を受け, 高知県技術士会から宮地修一会員(応用理学部門: 地質) と筒井秀樹会員(建設 / 総合技術監理部門: 土質及び基礎)が講師を担当した。

技術講習会のプログラムは次の通り。

四国地方整備局挨拶と情報提供 - 環境に配慮した法面緑化工法 - (13:30 ~ 14:00)

四国技術事務所 総括技術情報管理官
柳瀬晴朗

高知県技術士会挨拶(14:00 ~ 14:05)

高知県技術士会代表幹事 右城 猛

萩谷川流域の地下水調査(14:05 ~ 14:50)

- しっかり調査すると色々なことがみえてくる -

高知県技術士会 宮地修一

落石対策における最近の話題(14:55 ~ 15:40)

高知県技術士会 筒井秀樹

質疑応答(15:40 ~ 16:00)

閉会挨拶(16:00 ~ 16:05)

高知河川国道事務所 所長 三戸雅文



宮地会員, 筒井会員の講演



会場の様子



三戸事務所長よりお礼の挨拶を受ける筒井会員と宮地会員